



## 2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 サイバネットシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4312 URL <https://www.cybernet.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安江 令子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 俊之 (TEL) 03-5297-3010  
 定時株主総会開催予定日 2020年3月12日 配当支払開始予定日 2020年2月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年3月13日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期の連結業績 (2019年1月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	21,350	8.3	2,020	34.5	2,145	27.4	1,258	—
2018年12月期	19,719	9.6	1,502	△0.2	1,684	2.8	△656	—
(注) 包括利益	2019年12月期		1,280百万円(—%)		2018年12月期		△820百万円(—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	40.38	—	9.6	10.7	9.5
2018年12月期	△21.07	—	△4.9	8.4	7.6
(参考) 持分法投資損益	2019年12月期	—百万円	2018年12月期	—百万円	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	20,821	13,636	64.7	432.12
2018年12月期	19,215	12,867	66.3	408.80
(参考) 自己資本	2019年12月期	13,464百万円	2018年12月期	12,737百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	2,590	△482	△512	9,935
2018年12月期	1,236	△308	△523	8,378

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期	—	8.26	—	8.26	16.52	520	—	3.8
2019年12月期	—	7.69	—	12.50	20.19	629	50.0	4.8
2020年12月期(予想)	—	10.43	—	10.43	20.86		50.0	

## 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	22,000	3.0	2,060	2.0	2,140	△0.3	1,300	3.3	41.72

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 一社（社名）、除外 2社（社名）CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC.  
 WATERLOO MAPLE INC

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期	32,076,000株	2018年12月期	32,400,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期	917,779株	2018年12月期	1,241,731株
③ 期中平均株式数	2019年12月期	31,158,257株	2018年12月期	31,158,269株

(注) 期末自己株式数は、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有していた当社株式（2018年12月期 324,000株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有していた当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2018年12月期 324,000株、2019年12月期 74,769株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の業績は、国内売上高は、CAEソリューションサービス事業及びITソリューションサービス事業ともに好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。海外売上高は、米国の開発子会社及びアジアの販売子会社が好調に推移いたしました。その結果、連結売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益面では、売上高の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前年同期を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は213億50百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は20億20百万円（前年同期比34.5%増）、経常利益は21億45百万円（前年同期比27.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億58百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失6億56百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較について、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「(5) 連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） 1. 報告セグメントの概要」の「(3) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### (CAEソリューションサービス事業)

主力商品のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、重電業界・エレクトロニクス業界からの大型受注及び官公庁からの受注が獲得できたことにより、好調に推移いたしました。保守契約の更新は、従来のオプション機能を標準搭載した新パッケージによる最適化機能やモデリング機能の活用拡大に伴う受注が増加し、好調に推移いたしました。

エンジニアリングサービスは、自動車業界からの自動運転及び制御系設計のMBD関連業務の受注が増加し、既存顧客からの継続プロジェクトの受注も増加したことにより好調に推移しました。

WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）は、北米及びアジアでは好調に推移いたしましたが、日本及び欧州では低調に推移いたしました。Sigmetrix, L.L.C.（米国）は、3次元公差マネジメントツールの販売が北米及びアジアでは好調に推移いたしました。Noesis Solutions NV（ベルギー）は、最適設計支援ツールの販売が日本では低調に推移いたしましたが、他の地域では好調に推移いたしました。

莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）は、主力商品の光学系ソフトウェア及びマルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしました。思渤科技股份有限公司（台湾）は、主力商品の光学系ソフトウェアの販売が低調に推移いたしましたが、マルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしました。CYFEM Inc.（韓国）は、主力商品の光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。2019年3月に事業を開始したCYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）は、主力商品の光学系ソフトウェアの販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は174億97百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は32億85百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

#### (ITソリューションサービス事業)

IT資産管理の窓口（主要商品の複数販売）ソリューションは、サイバネットクラウド（クラウド型IT資産管理サービス）が好調に推移いたしました。また、CASB（Cloud Access Security Broker）ソリューションもクラウドサービス利用増加に伴い新規受注が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は38億53百万円（前年同期比31.6%増）、営業利益は2億96百万円（前年同期比180.7%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の財政状態は、当連結会計年度末の総資産残高が208億21百万円となり、前連結会計年度比16億5百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は190億22百万円となり、前連結会計年度比15億81百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が14億48百万円減少したこと、有価証券が30億円増加したこと等によります。固定資産は17億99百万円となり、前連結会計年度比24百万円の増加となりました。

負債の部では、負債合計が71億85百万円となり、前連結会計年度比8億37百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が3億69百万円増加したこと、賞与引当金が1億74百万円増加したこと等によります。

純資産の部では、純資産合計が136億36百万円となり、前連結会計年度比7億68百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が6億2百万円増加したこと、自己株式が1億56百万円減少したこと等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.3%から64.7%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度比15億56百万円の増加となり、当連結会計年度末には99億35百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは25億90百万円のプラス（前年同期比13億53百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益20億71百万円、減価償却費2億25百万円及び賞与引当金の増加額1億74百万円等により増加した一方、法人税等の支払額4億39百万円等により減少したものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億82百万円のマイナス（前年同期比1億73百万円減）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入9億5百万円等により増加した一方、有形固定資産の取得による支出1億5百万円、無形固定資産の取得による支出1億7百万円及び貸付けによる支出11億78百万円等により減少したものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億12百万円のマイナス（前年同期比11百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払額5億円によるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
自己資本比率 (%)	71.5	69.0	67.6	66.3	64.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	73.8	106.9	109.2	89.9	131.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算定しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績見通しにつきましては、当社グループ各社での事業の拡大や経営効率の向上を図ることを見込み、売上高が220億円（前年同期比3.0%増）、営業利益が20億60百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益が21億40百万円（前年同期比0.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益が13億円（前年同期比3.3%増）を見込んでおります。

上記の見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,467,886	3,019,357
受取手形及び売掛金	4,570,516	4,382,373
有価証券	4,000,000	7,000,000
商品及び製品	7,370	8,910
仕掛品	29,618	9,472
原材料及び貯蔵品	7,918	22,032
短期貸付金	3,086,576	3,360,115
その他	1,274,269	1,223,421
貸倒引当金	△3,757	△3,565
流動資産合計	17,440,398	19,022,119
固定資産		
有形固定資産		
建物	287,265	265,229
減価償却累計額	△214,062	△205,686
建物(純額)	73,202	59,543
車両運搬具	743	764
減価償却累計額	△743	△764
車両運搬具(純額)	—	—
工具、器具及び備品	1,007,200	1,072,200
減価償却累計額	△781,107	△811,639
工具、器具及び備品(純額)	226,093	260,561
その他	—	44,735
その他(純額)	—	44,735
有形固定資産合計	299,295	364,840
無形固定資産		
その他	322,466	280,695
無形固定資産合計	322,466	280,695
投資その他の資産		
投資有価証券	1,711	1,758
繰延税金資産	789,172	807,912
その他	403,721	519,132
貸倒引当金	△41,089	△174,887
投資その他の資産合計	1,153,516	1,153,914
固定資産合計	1,775,278	1,799,450
資産合計	19,215,677	20,821,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,391,972	1,493,580
未払法人税等	161,028	530,742
賞与引当金	553,745	727,846
役員賞与引当金	27,540	44,600
前受金	1,995,394	2,021,158
その他	843,307	1,107,933
流動負債合計	4,972,988	5,925,860
固定負債		
退職給付に係る負債	1,327,370	1,230,834
繰延税金負債	36,118	28,620
その他	11,545	—
固定負債合計	1,375,033	1,259,455
負債合計	6,348,022	7,185,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	11,543,732	12,145,836
自己株式	△734,142	△577,684
株主資本合計	12,713,590	13,472,152
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,755	△8,106
その他の包括利益累計額合計	23,755	△8,106
非支配株主持分	130,308	172,208
純資産合計	12,867,654	13,636,254
負債純資産合計	19,215,677	20,821,570



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	19,719,043	21,350,645
売上原価	11,814,416	12,868,768
売上総利益	7,904,627	8,481,876
販売費及び一般管理費	6,402,216	6,461,675
営業利益	1,502,410	2,020,201
営業外収益		
受取利息	14,961	21,533
為替差益	51,468	—
助成金収入	102,182	118,738
その他	13,920	7,934
営業外収益合計	182,531	148,207
営業外費用		
売上割引	142	44
為替差損	—	22,519
その他	142	113
営業外費用合計	285	22,677
経常利益	1,684,657	2,145,731
特別利益		
固定資産売却益	5,840	57
事業譲渡益	490,426	—
受取返還金	133,008	—
特別利益合計	629,275	57
特別損失		
固定資産売却損	1,096	—
固定資産除却損	226,583	5,875
減損損失	1,701,042	8,622
貸倒引当金繰入額	—	59,653
事業撤退損	115,641	—
関係会社事業構造改善費用	15,900	—
特別損失合計	2,060,264	74,150
税金等調整前当期純利益	253,667	2,071,637
法人税、住民税及び事業税	490,493	793,456
法人税等調整額	360,022	△34,426
法人税等合計	850,516	759,029
当期純利益又は当期純損失(△)	△596,848	1,312,608
非支配株主に帰属する当期純利益	59,690	54,361
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△656,538	1,258,246

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△596,848	1,312,608
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△223,892	△32,111
その他の包括利益合計	△223,892	△32,111
包括利益	△820,740	1,280,496
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△875,472	1,226,384
非支配株主に係る包括利益	54,731	54,112

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	995,000	909,000	12,706,820	△734,142	13,876,678
当期変動額					
剰余金の配当			△506,549		△506,549
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△656,538		△656,538
自己株式の取得					—
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,163,088	—	△1,163,088
当期末残高	995,000	909,000	11,543,732	△734,142	12,713,590

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	242,689	242,689	92,433	14,211,801
当期変動額				
剰余金の配当				△506,549
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△656,538
自己株式の取得				—
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△218,933	△218,933	37,875	△181,058
当期変動額合計	△218,933	△218,933	37,875	△1,344,146
当期末残高	23,755	23,755	130,308	12,867,654

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	995,000	909,000	11,543,732	△734,142	12,713,590
当期変動額					
剰余金の配当			△499,650		△499,650
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			1,258,246		1,258,246
自己株式の取得				△34	△34
自己株式の消却			△156,492	156,492	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	602,104	156,457	758,562
当期末残高	995,000	909,000	12,145,836	△577,684	13,472,152

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23,755	23,755	130,308	12,867,654
当期変動額				
剰余金の配当				△499,650
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				1,258,246
自己株式の取得				△34
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,862	△31,862	41,899	10,037
当期変動額合計	△31,862	△31,862	41,899	768,599
当期末残高	△8,106	△8,106	172,208	13,636,254

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	253,667	2,071,637
減価償却費	298,940	225,515
減損損失	1,701,042	8,622
のれん償却額	190,361	—
受取利息及び受取配当金	△14,961	△21,533
為替差損益 (△は益)	△59,210	17,605
固定資産売却損益 (△は益)	△4,743	△57
固定資産除却損	226,583	5,875
受取返還金	△133,008	—
事業撤退損	115,641	—
関係会社事業構造改善費用	15,900	—
事業譲渡損益 (△は益)	△490,426	—
売上債権の増減額 (△は増加)	49,981	128,200
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,191	4,523
仕入債務の増減額 (△は減少)	△129,788	△25,971
未払費用の増減額 (△は減少)	25,533	123,972
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,641	115,495
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43,109	131,018
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,873	174,827
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,990	17,060
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△515	△96,535
その他	△57,892	127,356
小計	1,964,901	3,007,611
利息及び配当金の受取額	15,892	21,493
法人税等の支払額	△744,240	△439,051
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,236,553</b>	<b>2,590,053</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△85,650	△82,280
定期預金の払戻による収入	303,003	82,280
有形固定資産の取得による支出	△155,554	△105,719
有形固定資産の売却による収入	11,406	57
無形固定資産の取得による支出	△225,929	△107,989
事業譲渡による収入	29,058	7,753
貸付けによる支出	△346,247	△1,178,635
貸付金の回収による収入	164,882	905,095
その他	△3,966	△3,190
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△308,996</b>	<b>△482,627</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△34
配当金の支払額	△507,082	△500,032
非支配株主への配当金の支払額	△16,855	△12,212
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△523,938</b>	<b>△512,280</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,643	△38,354
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>384,975</b>	<b>1,556,791</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,993,840	8,378,815
現金及び現金同等物の期末残高	8,378,815	9,935,607

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」282,078千円及び「流動負債」の「繰延税金負債」のうち1,796千円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」789,172千円に含めて表示し、「流動負債」の「繰延税金負債」のうち12,488千円及び「投資その他の資産」の「繰延税金資産」のうち2千円を「固定負債」の「繰延税金負債」36,118千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

### 1. 報告セグメントの概要

#### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品・製品及びサービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商品・製品及びサービスについて、代理店販売、自社開発、サービス提供等の事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎とした商品・製品及びサービス別セグメントから構成されており、「CAEソリューションサービス事業」及び「ITソリューションサービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

#### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「CAEソリューションサービス事業」は、CAEソフトウェアの開発・販売及びCAEサービスの提供を行っております。

「ITソリューションサービス事業」は、ITソフトウェアの開発・販売及びITサービスの提供を行っております。

#### (3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、組織変更に伴い一部組織のセグメント区分及びセグメント利益の算定方法を変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後のセグメント区分及び変更後のセグメント利益の算定方法により作成したものを記載しております。

### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,791,375	2,927,667	19,719,043	—	19,719,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,791,375	2,927,667	19,719,043	—	19,719,043
セグメント利益	2,535,903	105,704	2,641,607	△1,139,197	1,502,410
その他の項目					
減価償却費	248,387	34,550	282,937	16,002	298,940
のれんの償却額	190,361	—	190,361	—	190,361

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,139,197千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△1,139,197千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	17,497,225	3,853,420	21,350,645	—	21,350,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,497,225	3,853,420	21,350,645	—	21,350,645
セグメント利益	3,285,907	296,676	3,582,584	△1,562,382	2,020,201
その他の項目					
減価償却費	173,723	40,263	213,987	11,528	225,515
のれんの償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,562,382千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△1,562,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	408.80円	432.12円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	△21.07円	40.38円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度324,000株、当連結会計年度74,769株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度324,000株であります。
3. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△656,538	1,258,246
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	△656,538	1,258,246
普通株式の期中平均株式数 (株)	31,158,269	31,158,257

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2018年12月31日)	当連結会計年度末 (2019年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	12,867,654	13,636,254
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	130,308	172,208
(うち非支配株主持分 (千円))	(130,308)	(172,208)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	12,737,346	13,464,045
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	31,158,269	31,158,221

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。